



---

## 地域循環共生圏づくり支援セミナー 「中間支援」が必要とされる？

---

2025年12月5日  
環境省 中部地方環境事務所



# 「経済財政運営と改革の基本方針2025 ～「今日より明日はよくなる」と実感できる社会へ～」(骨太方針2025)の記述

## 2. 地方創生2.0の推進及び地域における社会課題への対応

### (2) 地域における社会課題への対応

(関係人口の拡大と個性を活かした地域づくり)

-中略-

関係人口の拡大や二地域居住の促進に向け、ふるさと住民登録制度の創設、第2のふるさとづくり・ワーケーション推進や交流・基盤施設整備、**中間支援組織**によるマッチング支援を進める。

---

## 4. 国民の安心・安全の確保

### (2) 東日本大震災からの復興・再生及び能登半島地震からの復旧・復興等

(能登半島地震からの復旧・復興及び防災対策の推進等)

-中略-

・・・地域における防災力の強化のため、・・・災害**中間支援組織**の設置・機能強化、・・・の充実強化に取り組む。

---

### (7) 「誰一人取り残されない社会」の実現

(共生・共助)

-中略-

寄附の促進、NPOの活動を支援する**中間支援組織**を通じた支援を含め、社会課題解決に取り組む民間主体への支援を強化し、ソーシャルセクターの発展に取り組む。

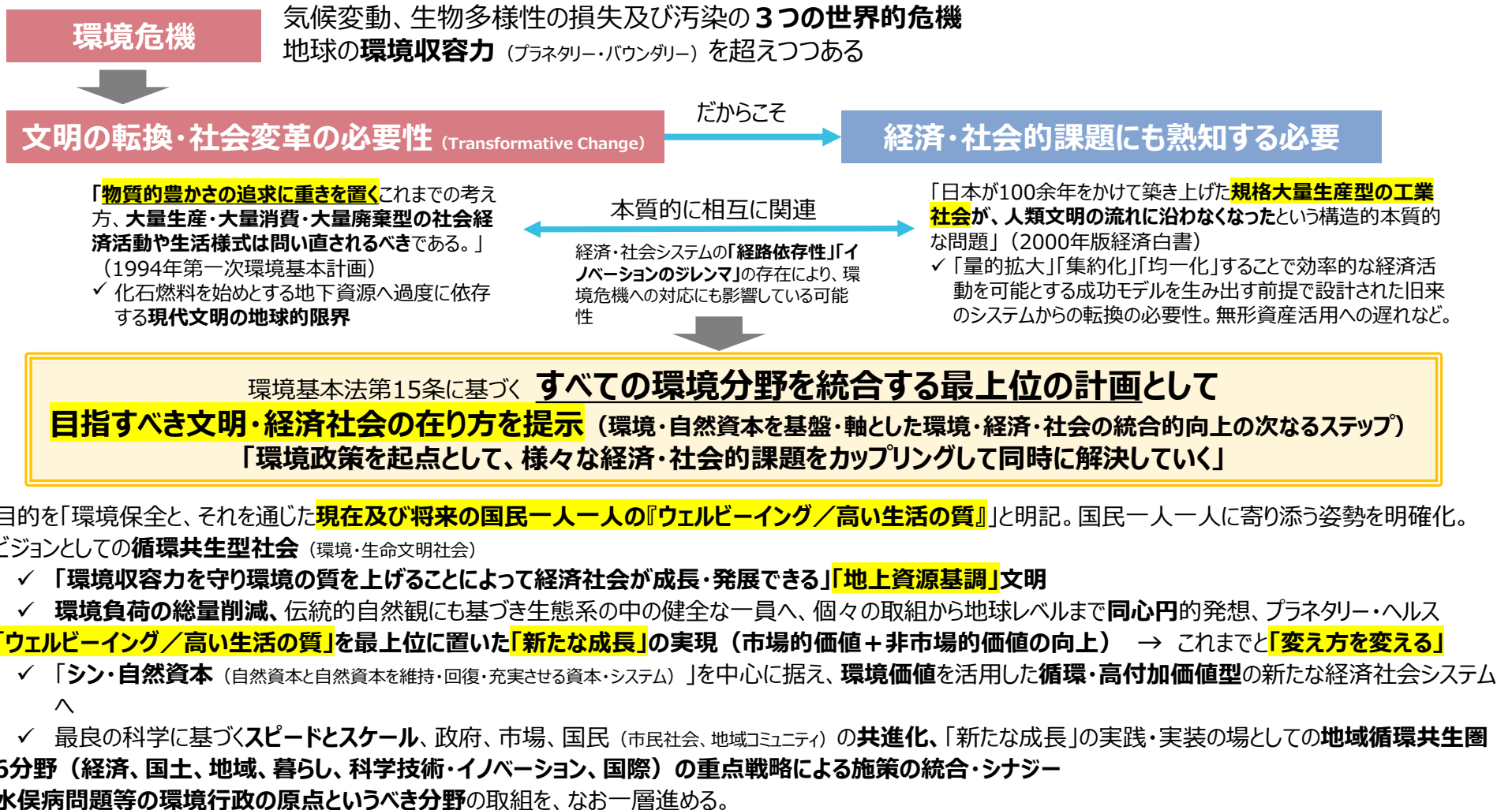
中間支援組織を

「多元的社会における共生と協働という目標に向かって、地域社会とNPOの変化やニーズを把握し、人材、資金、情報などの資源提供者とNPOの仲立ちをしたり、また、広義の意味では各種サービスの需要と供給をコーディネートする組織」と定義

内閣府『中間支援組織の現状と課題に関する調査報告』（2002年）より抜粋

多元的社会 ⇔ 一元的社会

# 第六次環境基本計画の狙い・ミッション： 「第一次計画から30年の節目を踏まえ 希望が持てる30年へ」と「勝負の2030年」



# 3つの危機

## 気候変動

・2023 年、2024 年の世界平均気温はそれまでの観測史上最高値を連続して上回った。

## 生物多様性の損失

・過去50年間の地球上の種の絶滅は、過去1,000万年の平均の少なくとも数十倍、あるいは数百倍の速度で進んでいる。

## 汚染

・湖、河川、海洋に蓄積されるプラスチックの量は2019年から2060年までに3倍以上に増加する見込み。



## 文明の転換・社会変革の必要性 (Transformative Change)

## 経済・社会的課題にも熟知する必要

# なら人間活動・・・どうすればいい？

「物質的豊かさの追求に重きを置くこれまでの考え方、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動や生活様式は問い直されるべきである。」（1994年第一次環境基本計画）

化石燃料を始めとする地下資源へ過度に依存する現代文明の地球的限界。

「日本が100余年をかけて築き上げた規格大量生産型の工業社会が、人類文明の流れに沿わなくなったという構造的本質的な問題」（2000年版経済白書）

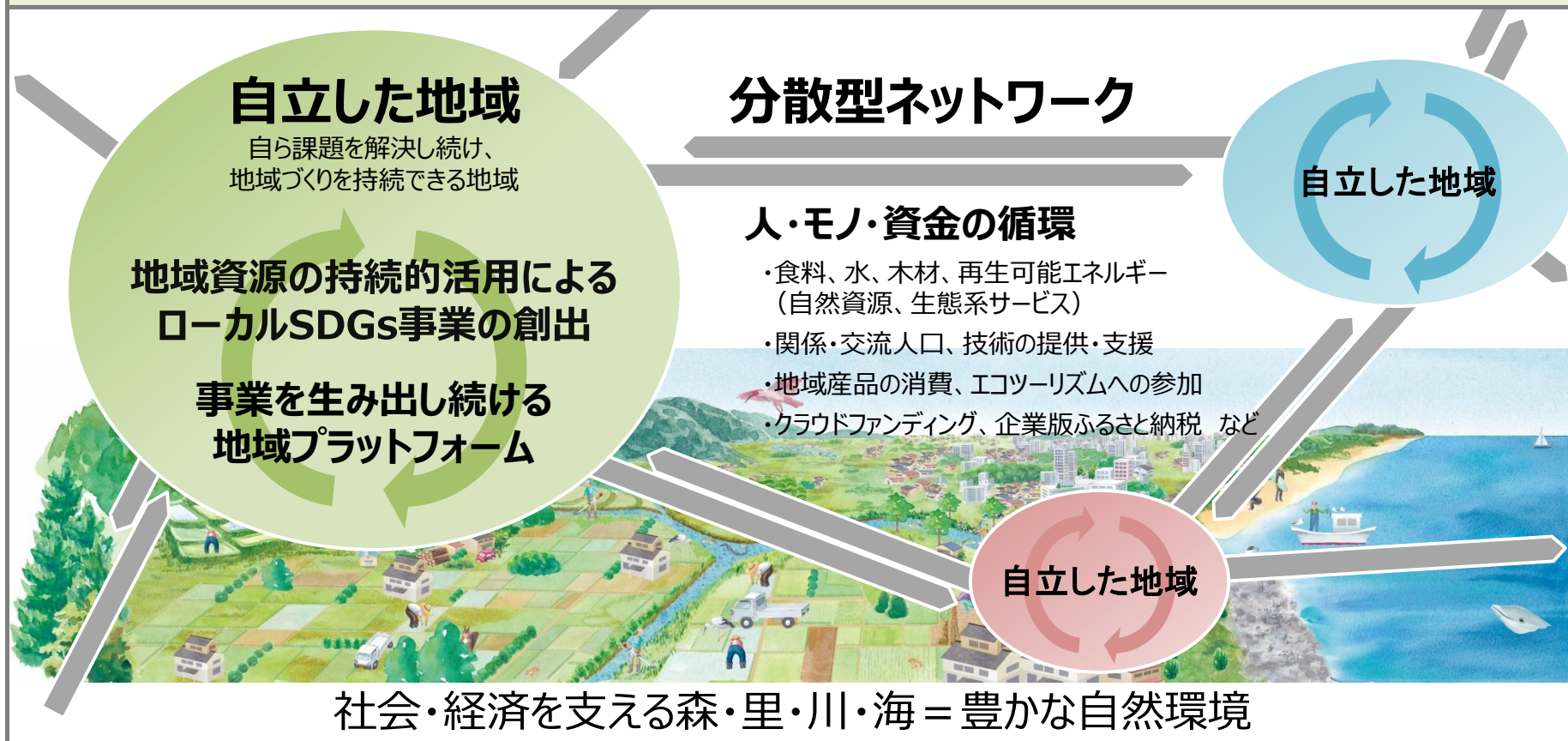
「量的拡大」「集約化」「均一化」することで効率的な経済活動を可能とする成功モデルを生み出す前提で設計された旧来のシステムからの転換の必要性。



# 「第五次環境基本計画」から伝えています

## 地域循環共生圏 = 自立・分散型の持続可能な社会

地域の主体性:オーナーシップ 地域内外との協働:パートナーシップ 環境・社会・経済課題の同時解決



・ **地域資源を活用して環境・経済・社会を良くしていく事業**を生み出し続けることで地域課題を解決し続け、自立した地域をつくとともに、地域の個性を活かして**地域同士が支え合うネットワークを形成**する「自立・分散型社会」を示す考え方。

・ 私たちの暮らしが、森里川海のつながりからもたらされる自然資源を含めて地上資源を主体として成り立つようにしていくために、これらの資源を持続可能な形で活用し、自然資本を維持・回復・充実していくことが前提。



# 自ら課題を解決し続け、持続る地域づくりを持続できる地域

## 環境・社会・経済課題の同時解決



**地域の  
主体性**  
(オーナーシップ)

地域の人々が、ワクワク  
感とやりがい大切に  
しながら、  
主体的に事業を立ち  
上げ、運営している

**協働**  
(パートナーシップ)

地域内の多様な分野の人  
による協働、  
地域外の人とのつながり・  
支えあいによって、  
事業を立ち上げ、運営している

もともと地域ごとに違うので

## 地域ごとに課題を解決し続ける

全部、地域で考えて  
地域で解決する・・・と言われても

- ・地域ごとに違う課題をだれが解決する？
- ・どこにでも通用するシンプルな対策はある？

# 手順も手法も都度考える

## 地域を俯瞰的に見て支援することに長けた存在 ～中間支援の必要性～

「地域だけではやりきれない」ということではなく

機能概要	打ち手（具体的な支援策）の例			
<b>変革促進</b> 取組の停滞を打破したり、円滑化するため、やり方を工夫したり、変化させる	 物事を整理する	 意味づける	 癒しとなる	 見通しをつける
<b>プロセス支援</b> 関係者の納得度合いや先を見越したステップの確認など	 話を聞く	 場を開く	 喝を入れる	 現在地を確認する
<b>資源連結</b> 情報提供・資金調達・人材紹介・他地域の事例や人材の紹介など	 新しい人を入れる	 事例を紹介する	 本音を引き出す	 拡散する
<b>問題解決提示</b> 取組の停滞や促進を妨げている課題に対する対策の提案など	 文字や図に落とす	 問いを立てる	 会議を進行する	 落とし所を探る

- [1] スtock重視
- [2] 長期的視点
- [3] 国民の本質的ニーズの重視
- [4] 無形資産重視
- [5] コミュニティ重視
- [6] 自立・分散型

地域が主役！ であるために



